

蕨 広報WARABI 12

2007/平成19年
わらび・672

平成19年12月1日発行 / 発行所・蕨市役所
<http://www.city.warabi.saitama.jp>
蕨市の面積 5.10km²
11月1日現在人口：71,011人 前月比 +88人
男 36,341人 女 34,670人
世帯数：34,368
人口密度：13,923人 / km²



「できました～」とお店に並べる商品を持つ園児たち

たんぼぼ保育園の5歳児クラス(23人)は、13日に開かれる「お買い物ごっこ」に向けて商品作りの真っ最中です。お客さんになる、年下の園児たちに、折り紙や絵の具で作った商品をきれいに並べて売ります。「いっぱい売れたらいいな」と張り切る園児たちです。

目次

まちを知ること	
まちを好きになること...	2
ほっと・エッセイ.....	7
絵本の読み聞かせ.....	8
まちの話題.....	11
いきいきシルバーライフ...	12
蕨いまむかし.....	13
振り込め詐欺に注意を!...	14
輝いていまひと.....	16

「特集」

まちを知ること まちを好きになること

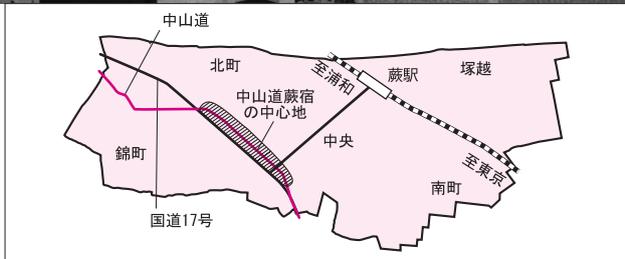


人と歴史の交差点

中山道「蕨宿」



▲歴史民俗資料館本館に展示してある中山道蕨宿の1/200の模型



蕨市の歴史と文化を生んだ中山道。この道には貴重なまちの歴史文化遺産のほかにも、昔の人々のいろいろな知恵や、行き交った人々の物語があります。今月は新しく蕨市に越して来られたかたも、昔からお住まいのかたにも、中山道の様子や移り変わりをご紹介し、まちの歴史を知っていただきたい、そんな思いの特集です。ここ2ページから7ページまでの特集を通じて、蕨市のルーツの1つとなった中山道蕨宿についてご紹介します。テーマは「まちを知ること まちを好きになること」です。

「こ存じ」ですか宿場で栄えた蕨の歴史

今から約400年前、徳川家康とくがわいえやすが江戸に幕府を開いて、最初に取り組んだ事業が道路の整備でした。江戸市中の主要道路幅となっている5間(9メートル)の道路を地方にも造ろうという(実際は立地条件などによりその幅は異なります)画期的な政策でした。こうして整備された道路が東海道、甲州道中、日光道中、奥州道中そして中山道の五街道です。中山道は、江戸からその名の通り、江戸からその名

戸田の渡しで荒川を渡る第2の宿場

蕨宿は江戸日本橋から2つ目の宿場になります。当時、大きな荒川を渡るのは、天候によって左右されるなど困難でした。まして1000人を超す大人数の大名行列ならば、いかに大変であったことでしょうか。そんな難関を過ぎてほつと一息する場所であったり、江戸に入る前に身支度を整える場所であったりするのが蕨宿だったのです。



脇本陣に伝わる大名の懐事情の話

おかだ まさおみ
岡田 正臣さん
中央5丁目

岡田家は殿様などの家来が泊まる脇本陣を務めてきました。ただ、いつから務めたかは記録がなく分かりません。蕨宿は多くの大名が利用し、なかには行列が1,000人を超す大名もいたそうですが、はぶりのよい大名もいればそうでない大名もいて、財布のひももそれぞれでした。行列の人数が多くて、もうかったということはあまりなかったそうです。

中山道蕨宿ができた時期はいろいろな説がありますが、慶長17年(1612)が有力とされています。また、もともと室町時代に渋川氏の蕨城があり、宿場が置かれる基礎が備わっていたようです。中山道

蕨宿で暮らす人の生活と庶民の生活

蕨宿には、大名や公家などが宿泊する本陣があつたため、約1キロにわたる宿の周りを用水路で囲み、出入り口には木戸を設けていました。昔も人々が防犯や防火に関心があつたことに驚かされます。

天保14年(1843)の蕨の人口は、2223人と記録されています。中山道蕨宿の中心地には本陣2軒のほか、家臣などが利用する脇本陣が1軒、庶民が利用する宿泊所の旅籠が23軒、家数430軒、のほか豆腐屋、たばこ屋、髪結いなどさまざまな職業の人々が暮らしていたそうです。

中山道を利用した大名は30から40ほどで、1000人以上の上の大行列もあり、大人数の大名や公家は蕨宿を忙しくさせました。また、旧暦7月11日と12月26日には市がたち、いつも活気にあふれたそうです。しかし、農業などを営む人たちは、中山道の交通量が増えるにつれ人馬を動員させられ、その負担は大きく、生活を苦しめられました。宿場と負担の軽減をめくつてしばしば村民が対立し、訴訟などを起こすこともあつたそうです。

「故きを温ねて新しきを知る」といいます。皆さんもそんな中山道を歩いてみませんか。



右の写真は、大正天皇の即位を祝う当時の街道風景です。三学院入り口付近から蕨郵便局方面を見たもので、薬屋さんが今の面影を残しています。家々の前のちょうちんには、「みんなで仲よく輪を組んで、明るいまちを築こう」という願いが、こめられています。



いま

中山道蕨宿いまむかし

むかし



中町と呼ばれたこの辺りは、本陣や脇本陣、問屋場など、宿場の重要な施設が集まっていた。昔の写真は、昭和30年代の中町の風景です。昭和48年に本陣の門構えを再現した建物が造られ、隣には、歴史民俗資料館があり、当時の様子を今に伝えています。



中山道「蕨宿」を行く

私たちがなにげなく通っている中山道。でも、学校で昔は偉いお侍さんをはじめ、多くの人が行き交った重要な道だと知った子どもたち。仲よく歩いて昔のまちの様子を学びました。



探検隊さあ出発だ！

スタートは中央6丁目にある中山道蕨宿と刻まれた大きな石碑にしました。この近くには昔、木戸があって、京都に行くときの蕨宿の入り口だったそうです。

2、3分歩くと左手に、見るからに古いけれど、りっぱな建物がありました。ここは歴史民俗資料館分館で、昔、



機織^{はたおり}で商売をしていた人の家だったそうです。中には池や緑がたくさんあって、道路の近くなのにとても静かでした。

分館を出てしばらくすると、蕨本陣を見つけました。ここは大名とか偉い人が休んだり泊まったりした所だそうです。奥には本陣を利用した大名の名前がたくさんありました。どうやら普通の人は利用できなかったようです。

探検隊のメンバー紹介



原田 葵 さん

きれいなお庭がある歴史民俗資料館分館が私のお気に入りです。縁側の眺めもすてきでした。



石川 大雅 さん

偉い人しか泊まったり休んだりできなかった蕨本陣が好きです。僕も泊まりたかったなあ。



古川 小夏 さん

私はなんといっても歴史民俗資料館の本館です。宿場の模型で昔の街並みが分かりました。



新妻 優太 さん

三学院はいろんなお地蔵さんがいてびっくり。昔の人たちはどんなことをお願いしたのかなあ。



菊池 光紗 さん

昔の中山道はこんな家や蔵があったんだと感じる北町2丁目の街並みが私のお気に入りです。



児玉 純奈 さん

からくり時計とモザイクタイルが周りの景色に合ってる中山道ふれあい広場がわかった。



昔の宿泊所「蕨本陣」



奥に泊まった大名の名がずらり

建物の中は機織道具もあつたよ



歴史民俗資料館分館



静かな地蔵の小径の奥が三学院
たくさんのお地蔵さんがいたよ



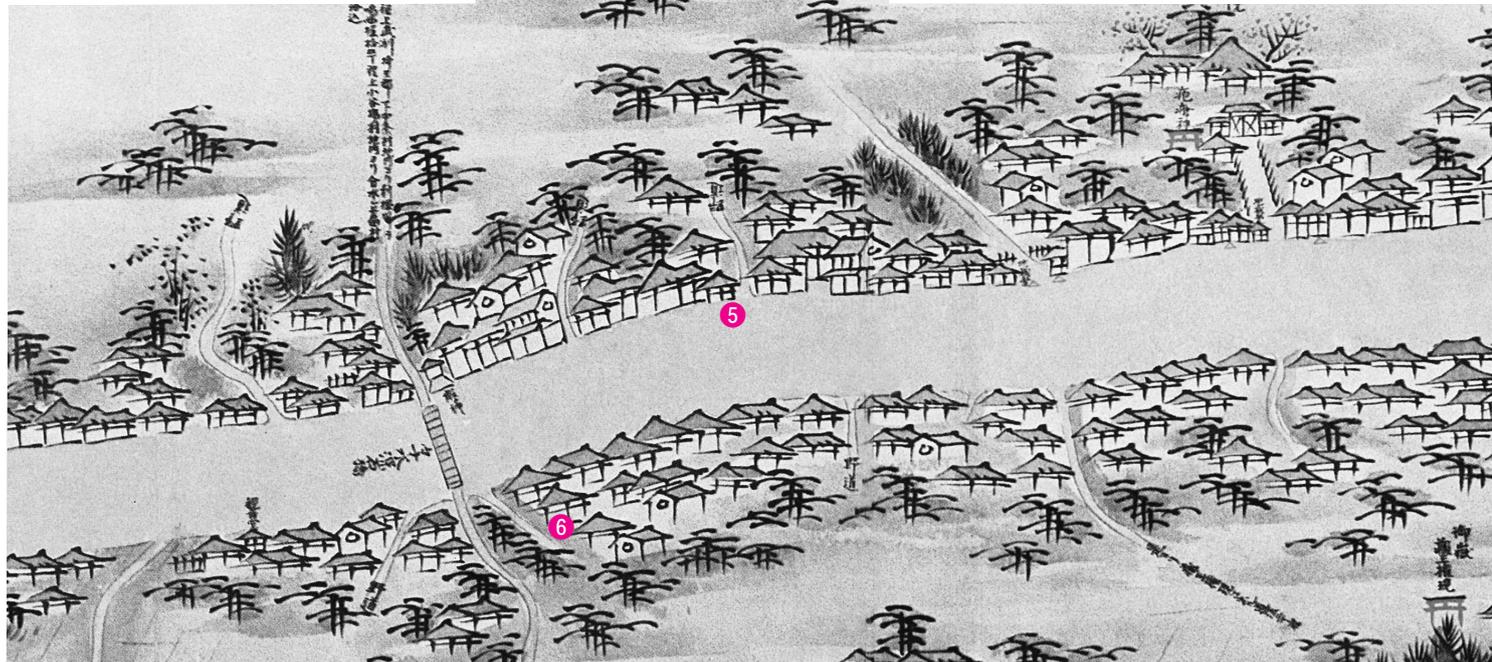
【特集】
まちを知ること
まちを好きになること

隣には、歴史民俗資料館の本館がありました。ここには昔、旅館があつて、建物の形はそのときと同じように造つたそうです。中には、当時の蕨宿を再現した模型があつて、今と全く違う街並みに驚きました。でもいちばん驚いたのは、宿に泊まる客をまねした本物そっくりの人形でした。

いきな人が住んでいるのだと思
いてみるといるおもしろ
い物が発見できて、中山道が
好きになりました。

しばらく歩くと、地蔵の小径
という石碑があり、その道を行
くと三学院というお寺に突き
当たりました。山門近くには、
市内でいちばん古くて大きい
子育地蔵がありました。昔は
中山道沿いにあつたそうです
が、今は本堂近くにありません。
再び中山道に戻って歩いて
行くと、右側に蔵がある古い
家を見つけました。さつき資
料館本館で見た、昔の建物の
ようで、きっと中山道が大好
きな人が住んでいるのだと思

いました。
ゴールは北
町3丁目にあ
る交番の後ろ
の北町ふれあ
い広場です。
からくり時計
とモザイクタ
イルがきれい
でした。



中山道分間延絵図・東京国立博物館所蔵



ふれあい
広場



大名行列の
タイルの絵が
きれい



歴史の
ある街
並み

子ども探検隊

たくさん見つけたよ



歴史民俗
資料館



【特集】
まちを知ること
まちを好きになること

中山道には、人と人との触れ合いをたいせつにしようと取り組み、協力し合う地域の皆さんの姿があります。郷土への愛情と誇りを忘れず、自分たちが住むまち、大好きなまちを守り伝えたいと思っています。宿場まつりやまちづくりへの思いを通して、歴史文化のまちを考えてみます。

蕨が好きから はじまるまちづくり



- ①「宿場まつり」がいちばん盛り上がる織姫道中大行列
- ②歴史民俗資料館分館でお茶会を楽しむ皆さん
- ③「宿場まつり」の最後を締めくくるところ
- ④家族で参加するフリーマーケット
- ⑤歴史民俗資料館前のかわいい織姫

心に広がる郷土愛 中仙道宿場まつり



中仙道蕨宿
宿場まつり
実行委員長

とつか ひろゆき
戸塚 博之さん
北町2丁目

今年で24回を数える中仙道蕨宿宿場まつりは、地域の多くのかたが協力し参加していただける市の一大イベントになりました。開催当初は、にぎわいが失われつつある商店街の活性化が目的でしたが、今では蕨が昔、宿場や織物で栄えたことを伝え、まちに愛着を持ってもらい、より多くの人との触れ合いができる祭りを目指しています。

蕨市には4月の「苗木市」、8月の「機まつり」をはじめとする3大祭りがあります。その中の1つ、「中仙道武州蕨宿場まつり」が11月3日に開催され、およそ12万人の人が訪れました。

好天にも恵まれ大盛況となりました。人気の源は、商店街の皆さんはもちろんな、市内小・中学校の児童生徒や町会各種団体の皆さんなどが積極的に参加してお祭りを盛り上げているところにあるようです。

この宿場まつりは、昔の中山道蕨宿の中心地、約1キロメートルを会場とし、出店やフリーマーケットが沿道に並び、今年も

中山道の「山」に人偏が付けられているのは、多くの人がこの地を訪れてほしいとの願いからだそうです。

守り伝えたい歴史のふるさと中山道

蕨市は江戸時代、中山道有数の宿場まちとして発展してきた一方で、江戸時代末期から明治時代にかけては綿織物（双子織）の生産中心地として栄えたまちでもあります。それを伝えようと、宿場まつりでは、江戸時代の衣服に仮

装して、当時の大名行列を思わせるパレードを催したり、双子織のファッションショーなどが行われたりしました。こうした取り組みは、進む都市化と皆さんの生活様式の多様化で、失われがちな郷土への愛着と誇りを忘れないで

ほっと・エッセイ ⑤

健康密度も日本一へ

市長 頼高 英雄

先日、「あなたが主役の健康づくり」健康密度も日本一へ」をテーマに、「第7回わらび健康まつり&第9回歯ピィわらび」が開催され、合わせて1700人も市民が参加しました。あらためて市民の皆さんの健康への関心の高さがうかがえます。

年齢を問わず、市民だれもが健康で生活したい、と願っていると聞きます。そのためには、いざ病

気になったときに安心してお医者さんにかかれることもたいせつですが、それ以上に、病気になる前に、日ごろからの予防活動、市民ぐるみの積極的な健康づくり運動が重要ではないでしょうか。

医療制度改革により、来年から市の健康診査のしくみも大きく変わることにあります。よくマスクで、メタボリック予防と言われているようですが、要は予防を重視して

いくという考え方は。私は、健康づくりを蕨のまちづくりの柱の1つに据えて、皆さんとともに、積極的に取り組むたいと考えています。健康づくりのスタイルは人さまざまです。1人で黙々と取り組める人もいます。しかし、人間、弱いものです。できれば、健康体操など仲間とともに楽しみながら、体を動かし、それが健康づくりにつながれば理想的

ですね。「わらび字びあいカレンダー」の講座でも、フラダンスやストレッチャヨガが人気だそうです。人口密度が日本一の蕨で、健康密度も日本一を目指して、楽しく健康づくりに、皆さんも取り組んでみませんか。

お便りお待ちしております

蕨市役所
秘書広報課広報広聴係

〒335-8501 蕨市中央5-14-15
TEL 433・7703 FAX 445・0586
E-mail hisho@city.warabi.saitama.jp

【広報蕨】へのご意見・ご感想のほか、身近な楽しい話題や催しなど、どんな話題でもけっこうです。お便りお待ちしております。

中山道沿いに暮らして

蕨の歴史を伝えたい



たきざわりん 三さん
瀧澤林 北町3丁目

瀧沢家がここに住み始めたのは、まだはつきりしていませんが、今、分かっているのは江戸時代末期からだということですね。

明治時代から続く今の古い建物を維持していくのはたいへんですし、この季節は、ほかの住宅に比べて寒いなど、住んでいて不便を感じる時もあります。でも、昔の中山道の面影を残すことで、1人でも多くの人がまちの歴史を知るきっかけとなってもらえれば、うれしいですね。

心地よい地域社会に



なみ きよし 裕さん
並木 中央6丁目

転勤が多く、2年前、たまたま中山道沿いに住むことになりました。越してまもなく、近所の人から植木や蕨宿のシールなどをいただいたりして、仲よくさせていただいています。以前のマンション生活にはなかった、自分たちの地域を住民でよくしていこうとする心地よさを感じています。

規制をかけてまで景観を守るようにする地域の取り組みも、中山道をたいせつに守り伝えたいという思いが感じられ、うれしいですね。



- 1 整備された「蕨宿界隈史跡案内板」
- 2 昔の建物と段差
- 3 中山道沿いに残るかや屋・新築も街並みに配慮が求められます

今後ともたいせつにしたいまちの歴史

中山道は、一度歩いたことがある人なら分かれると思いが、今は段差がなく、両側に低木が植えられた道路や、かわら屋根の家屋が立ち並び、歴史文化の面影を残す街並みになっていきます。

これは、地域の皆さんで作る、中山道まちづくり協議会の皆さんと市がいつしよに考え、力を出し合って整備した街並みです。

市は、これからも地域の皆さんといつしよに歴史ある中山道を、しっかり守り育てていきたいと思っています。

2つからご紹介してきた特集「まちを知ること、まちを好きになること」は、いかがでしたか。あらためて中山道を知ったかたも多いのではないのでしょうか。

蕨のまちが形成され、発展してきた昔、中山道はその中心にありました。明治時代に入り、駅前通りが造られ、鉄道が通り、塚越村と合併して蕨町が誕生し、大正時代を経て戦後の昭和34年に蕨市が誕生しています。

まちの歴史を知ること、それは、まちをもっと好きになることではないでしょうか。

広がる世界 広がる夢

心に届く読み聞かせ

大きなひとみを輝かせながら、笑ったり驚いたり。多彩な声色を使う「読み聞かせボランティア」の心のこもった語りに、子どもたちはすっかりおとぎ話のなかです。主人公といっしょに旅をして、子どもたちは世界を広げ、夢を広げながら、豊かな心を養い、自分自身を成長させていくでしょう。





サークルよみっ子



読んでとうむしの会



おはなしくまさん



ケセラシ・パサラン



ことばのおもちゃ箱



おはなしいちご



おはなしワラビン

図書館や小学校、児童館などで読み聞かせのボランティアをしている7団体。なかには30年以上続けている団体もあります。皆さん活動を通じて、子どもたちの健やかな成長を願っています。

物語に夢中の子どもたち。読み手との心の触れ合いが深まっていく瞬間です。



皆さんの声をまちづくりに



レポート そこが知りたい

52

市民意識調査の結果がまとまる

無作為抽出した20歳以上の市民3000人を対象に、8月から9月までの期間で行った市民意識調査の結果がまとまりました。この調査は、市政に対する要望やご意見を市民の皆さんからお聞きし、今後のまちづくりに役立てていくためのものです。今月は、調査で行った20項目の内、「まちへの愛着」や「永住意識」などの主な項目についてご紹介します。

なく安全だから、「生まれたところ、育ったところだから」と続きます。

次に「永住意識」については、63・7%の人が「これからも住みたいと思う」と答えています。その理由は、環境

上の理由として「住み慣れているから」が6割以上を占め、次いで「近所の人たちと気が

が知れているから」となっています。また、生活上の理由

では、「消費生活に便利だから」が最も多く、約65%を占

め、次いで「通勤・通学に便利だから」と続きます。一方、

「住みたいと思わない」という人は、12・3%でした。

優先望まれる施策は安全安心まちづくり

市の重点施策について、今回は「重要度」と「満足度」

の両面からお聞きしました。その結果、「重要度」では、1

位が「防犯対策」、2位が「防

災・消防・救急体制」、3位が「市立病院の充実」となっており、昨年同様、安全安心の分野が1位と2位を占める結果となりました。

後を絶たない犯罪や、地域が狭く人口過密なまちで、いつ起きるか分からない災害などへの不安から、今年も防犯・

防災などの項目が、優先度の高いものとして挙がったようです。

また、「満足度」では1位が「コミュニティバスなどの公共交通の充実」、2位が下水

道の整備雨水対策」、3位が「防災・消防・救急体制」となり、重要度で上位だった「防

災・消防・救急体制」は満足度も上位だった一方、「防犯対策」、市立病院の充実の満足度は下位という結果でした。

貴重な意見を参考に だれもが愛する藤へ

時代の変化とともに変わる住民ニーズを的確に把握し、

市政に生かしていくことは、市民本位の市政を進める基本

です。これから来年度にかけ



【重点施策】について

(市民意識調査一部抜粋)

重要度	満足度
1位 防犯対策	1位 コミュニティバスなどの公共交通の充実
2位 防災・消防・救急体制	2位 下水道の整備・雨水対策
3位 市立病院の充実	3位 防災・消防・救急体制
4位 介護サービスの充実	4位 高齢者の社会参加や生きがい作り
5位 ごみの減量とリサイクル	5位 生涯学習の充実

て、市のまちづくりの方向を定めた「藤市総合振興計画」の後期基本計画作りを行いますので、今回の意識調査の結果をじゅうぶん参考にしていきたいと考えています。

今回の調査結果は、ホームページ(<http://www.city.warabi.saitama.lg.jp/gyosai/index.htm>)で御覧いただけます。

なお、調査内容や対象、回収率などは次のとおりです。

内容「まちへの愛着、永住意識、まちづくり(子育て、高齢期に大切なこと、運動・スポーツ、まちのにぎわい、防災、市民活動、環境)、生活圏、重点施策

対象「市内在住の20歳以上の男女3000人

回収率「36・8%(回答者数1104人)

1104人)

市政の一年

- 1月4日 コミュニティバス料金改定(子ども半額、精神障害者介護者無料)
- 1月8日 第61回成年式(713人)
- 2月8日 市民参画・協働のまちづくり指針策定
- 2月18日 子育てサミット開催
- 2月23日 藤西口地区7番街区市街地再開発組合認可
- 2月24日 東公民館車いす対応トイレ増設
- 3月25日 消費生活展(25日)6000人
- 3月25日 わらび郷土かるた大会
- 3月28日 小中学校校舎耐震診断(東小・西小・中央東小・塚越小)2中実施
- 3月28日 特別展「表情人形 山本光子風のまにまに」(4月23日)
- 3月28日 フジ畑 市内初の天然記念物(など)あらたに5か所が市の指定文化財に
- 3月28日 安全安心きれいなまちづくり市民大会(市民会館)
- 4月1日 スポーツフェア2007開催
- 4月1日 路上喫煙の防止等に関する条例制定
- 4月1日 耐震診断の補助制度開始
- 4月1日 住宅の入居保証助成制度
- 4月1日 脳ドック補助金5000円増の2万5000円に
- 4月1日 幼稚園児補助金の拡大(2万3000円→2万8000円)
- 4月1日 学びあいかレジンNPO法人化
- 4月1日 図書館子ども読書の日イベント
- 4月1日 苗木市 3万人
- 5月29日 ふれあい看護体験(10日)
- 5月29日 市立病院看護の日
- 5月29日 子育て支援フェスタ
- 5月29日 田中啓一市長任期満了で退任
- 5月29日 中央小学校プール塗装工事竣工
- 6月3日 藤市長選挙投票率59・24%
- 6月3日 藤市議会議員一般選挙投票率59・23%
- 6月4日 第6代藤市長に頼高英雄氏就任
- 6月4日 山田悦宣副市長が退任
- 6月4日 さわやか環境の日(クリーン)わらび市民運動3795人
- 6月4日 市民と市長の面会日再開
- 6月10日 塚越地区を男女共同参画推進モデル地域に指定(平成21年6月末日まで)
- 7月 自動体外式除細動器(AED)を全公民館に設置
- 7月 放課後子ども教室が市内小学校で順次スタート
- 7月 「男女共同参画の地域づくり」について推進委員会が提言
- 7月 市民団体実態調査を実施(202市民団体、148団体から回収)
- 7月10日 団体対象(148団体から回収)

鋭い洞察力で 光るいぶし銀のボレー

60歳を過ぎてからソフトテニスに挑戦し、選手、指導者、連盟の役員として普及に努めている仲嘉信さんをご紹介します。



全国大会出場の実績もある仲嘉信さん

60歳定年からの挑戦

10月28日、富士見テニスコートで行われた市民ソフトテニス大会壮年の部決勝。最後の1点が決まり、コート上でダブルスのパートナーと喜びを分かち合う仲嘉信さんの姿がありました。御年81歳。まだまだ現役です。「始めたころより運動量は落ちましたが、まだまだ若い人には負けませぬ」。スマッシュなどの豪快なプレーは見られなくなつたものの、その動

きは洗練されています。

仲さんは60歳を過ぎてから本格的にラケットを握りました。現在の市民体育館がある場所は当時はテニス場で、北町にお住まいの仲さんは、そこで行われていたテニス教室になにげなく参加したのがきっかけです。以前は野球、登山、バレーボールなどいろいろなスポーツをやっていました。「ソフトテニスに挑戦したときにピンときたんです。このスポーツは生涯、楽しめそうだな」と。以来、本を読んで勉強したり、市内で行われている教室に参加したりするなどして技術を学びました。

仲さんのポジションは前衛で、得意技はボレー。相手の動きを読み、瞬時に動く。ときにはわざとコースを空けて誘い込み、ひよいとボレーでしとめる。老獪なテクニクが光ります。

そんな仲さん

は、蕨市軟式庭球連盟の会計や蕨テニスクラブの理事を務めるなど役員としても活躍されています。水曜日に行われている市民体育館でのテニスコートの一般開放では、皆さんに気持ちよくソフトテニスを楽しんでもらいたいと、運営に携わったり、初心者に教えたりするなど普及にも努めています。また、平日は「婦人クラブ」に顔を出し、いっしょに楽しい汗を流しています。優しい人柄の仲さんの周りには、自然と人が集まります。

テニス教室で指導も

みんなから慕われている仲さん。6年ほど前、軟式庭球連盟から、少年ソフトテニス教室での指導



教室で得意のボレーを伝授 富士見テニスコート

を手伝ってほしいと声がかかりました。以来、毎週土曜日の朝7時から9時まで小学生に指導をしています。「優しく、ときには厳しく」をモットーに指導する仲さんに子どもたちも耳を傾けます。「始めて20年、こうして子どもたちとの交流の場も持てました。ソフトテニスは生涯楽しめるスポーツという直感は正しかった。これから率先して楽しみ、普及に努めたい」。

このまちに暮らして



中国 呂燕さん 中央1丁目・24歳

今年8月から、夫の劉さんの仕事の関係で蕨に暮らし始めた呂さんは、渤海と黄海に挟まれた、山東半島の海沿いにある山東省煙台市のご出身です。造船業が盛んで、リングやワインなどの産地としても有名だと教えてくれました。日本に来ることが決まっただけで、大学で半年間習った日本語の勉強を再開し、今は西公民館の「日本語ボランティアアラビィ西」で勉強中です。「教室で友人も増えました」とにっこり。「夫が休みの日には、よく夫婦でサイクリングに出かけるので、蕨にはちょっとした公園が多いのがうれしい」と呂さん。「中国では離れて暮らしていたので、そんな2人の時間を持てるようになったことが、日本に来ていちはんよかつたことかな」と、はにかみながら話してくれました。

心のケア

統合失調症

地域の居場所づくりで社会復帰を支援

統合失調症は幻覚・妄想・思考障害などさまざまな症状が現れる精神疾患の1つで、脳の神経伝達物質が関係する機能障害と考えられています。発症したら主に投薬療法により症状を軽減させていき、状態が安定すれば、社会復帰に向けたリハビリテーションを始めます。さまざまな体験をすることや、人とのコミュニケーションは、回復に効くよい方法といわれ、市でもさまざまな支援を行っています。その1つが、「精神

「糸ぐるま」は、精神に障害を持つ人の、地域にある居場所です。平成18年3月に開設し、ボランティアや一般の市民の人たち、障害を持つ人のご家族などで作る「精神障害者小規模地域生活支援センター糸ぐるまを支援する会（奥谷盛昭会長）」によって運営され、現在、20代から70代までの30人のかたが利用しています。

所は、中央7丁目の集合住宅の一室にあり、常勤の指導員とともに平日の午前10時から午後4時まで過ごせます。利用者の皆さんは、心を癒す音楽が流れる部屋でくつろぎながら仲間と話し合えるほか、昼食会や誕生日会を開いたり、コミュニケーションバスに乗って出かけたりすることもあります。利用者の皆さんから寄せられた声(下表)に、施設長の浦沢康子さんは、「安

らも人との交流の幅を広げていってほしい」と、話します。このように、精神障害者支援する施設や事業は「糸ぐるま」以外にもあります。保健センターで精神科医師に心の悩みや精神疾患の相談ができる、「こころの健康相談」や、統合失調症の人たちが主体となつて考えたプログラムを行う「ソーシャルクラブ」などです。1人で悩まず、ぜひ、気軽にお問い合わせください。

昼食会のメニューを和やかに話し合う指導員と利用者の皆さん



「糸ぐるま」利用者の声

ここへ通い出してから病気の症状がよくなった気がする
仲間とするなにげない会話が楽しい
指導員さんが病気を理解してくれるので安心できる
家と病院との往復以外に行く場所が出来てうれしい
自分の病気についてもっと知りたいので勉強会を開いてほしい

施設に関するお問い合わせは「糸ぐるま」☎432・8152、ご相談は保健センター☎431・5590までどうぞ。

蕨いまむかし

- 286 -

桜橋付近

昭和46年まで駅西口駅前通りを国道17号に向かって500メートルほど行くと桜橋と呼ばれる橋が架かっていました。

昔の写真は、昭和50年代後半の桜橋付近の様子です。左側に大方という文字が見えます。通称、大万百貨店と呼ばれる木造平屋建ての店舗で、広さ約700平方メートルの中に、乾物屋や雑貨屋など約20のお店が所狭しと並んでいました。私はここで魚屋をやっていました。父が昭和11年に店を出したのを引き継いだのです。いちばんの活気があったころは、昭和20年代後半でしょうか。市内に商店街が少なく、

語る人



うめざわ たくし 保さん
中央4丁目

通りはたくさんの人でにぎわっていました。向かいには吉田肉屋や青果店のヤマニもあり「桜橋に来ればすべてがそろろう」と、戸田や川口の芝刈りからも買いに来る人がいましたね。また、店内には駄菓

子屋もあり、子どもたちでもにぎやかでした。でも、そんな大万百貨店も平成元年の火事で焼失してしまいました。今の写真は、現在の桜橋付近です。跡地には平成15年に開店した「蕨ふれあいステーション」がたまて箱があります。店内に60あるさまざまなスペースは、出店者こだわりの品々であふれ、訪れる人の目を楽させています。



この数な～に

原稿用紙 190枚

小説の原稿？それとも論文の下書き？ではありません。この枚数は、『広報蕨』を拡大写本に製本したときの原稿用紙枚数で、18歳～のときの平均枚数なのです。ご存じの人も多いと思いますが、拡大写本は目の不自由なかたやお年寄りのかたに楽に広報紙を読んでいただけるよう、手書きの大きな文字で1マス1マス書き写したものです。本の製作は、市民で作る「拡大写本グループ」ボランティアの皆さん30人で当たっていただいています。発行日から約1週間でA4判に製本された本は、図書館や東・西・北町公民館に置かれています。

悪質で巧妙な手口 市職員を装った 振り込み詐欺に注意を!

手口が次々と変わる悪質な「振り込み詐欺」。最近では、市職員を装った詐欺が多発しています。どんな状況でも、振り込み手続きをするときは、「少し落ち着いて」、内容を確認することが未然に防ぐカギとなります。

親と子の
ニュースの
小窓



「振り込み」を誘ったためのあの手この手

じいちゃん ちょっとコンビニ エンスストアに行ってくる。

ワラビ ほくも行く〜!

お母さん なあに? お金って、お母さん 納めた税金が幾らか戻るそうなんだよ。

お母さん それで、コンビニ エンスストアに行くわけ?

お母さん そうだよ。さっき市役所の人から電話があった、ATM(現金自動預け払い機)で手続きできるから、行ってこれって言われたんだ。

お母さん それで?

お父さん それで、市役所ではなんて言っていた?

お母さん 振り込み詐欺じゃないかって。最近、被害も出ているようで、市でも広報車や防災行政無線放送などで、振り込み詐欺に気をつけるように呼びかけていたそうよ。

お父さん 怖いなあ。

お母さん ええ。市役所の税務課や保険年金課、福祉事務所などの職員を装って電話を

じいちゃん 後は電話でATMの操作を覚えてくれるそうだから、行ってからじゃなきゃ分らないんだよ。

お母さん 変な話ねえ。

お母さん ほら、これが教えてくれた電話番号だ。後で携帯電話から掛けるってさ。

お母さん 0120? フリーダイヤルね。私が掛けて確かめてみるわ…。

お母さん …。どんなこと電話で言っていた?

お母さん なにこれ! 現金を振り込むような指示になっていたわよ。怪しいなあ。直接市役所で聞いて来るわね。

お母さん …。

詐欺に遭わないために必ず内容確認を

掛けてくるんだって。税金や医療費を還付する」といった内容だったり、ときには勤務先や家族構成なんかを聞いてきたりする例もあるそうよ。

お父さん へ〜。でも、還付といったらお金が戻ってくることだろう? 逆に振り込んでしまうものだろうか。

お母さん そうねえ、ATMの使い方をよく知らなかったり、確定申告の後や病院にか

かった後で、話の内容が自分の状況と偶然重なったりすれば信じちゃうかもしれないわ。お父さん なるほどね。それにしても、こういう内容に気がつけて」と毎回言われても、振り込み詐欺の手口は次から次へと変わるからなあ。何かよい防ぎ方はないだろうか。お母さん 詐欺で共通する部分は、振り込み「こと」にあるわけだから、振り込みをしてほ



言葉巧みに相手を信用させる振り込み詐欺にはじゅうぶんに注意を

しい」という内容の電話や手紙が来たときは、必ずだれかに相談するようにしても、決して大げさじゃないと思わわ。お父さん うん。自分は被害に遭わないだろうと思わないほうがいいね。とにかくこういう場合は警察に届け出だ。お母さん 面もない…。ワラビ だまされないでよかったね。早くお菓子、お菓子! じいちゃん そうだね…。



子どもクラブ 東小学校

地域の人や保護者たちと触れ合いを深めようと、11月4日、東小学校（竹内良雄校長）校庭で「わいわいまつり」が開かれ、ゲームや模擬店に多くの人が訪れました。企画・運営は保護者と5、6年生35人の実行委員会で、9月から週1回集まり、どの学年の子も楽しめるルール作りや、喜ばれる景品選びなど、盛り上がるゲームコーナー作りで工夫を重ねてきました。当日は、日曜日を返上して、工作を教えたり景品を配ったりと、実行委員は自分のコーナーに付きっきりです。「準備はたいへんだったけど、にぎわってうれしい」と、満足顔の子どもは、主催者としての責任感も養われたようです。



「環境行動」のやさしさ

「図書館を利用する人たちに、いつでも気持ちよく本を手にもってほしい」と、3年前から傷んだ本の修復をしている、本のボランティア（会員12人）の皆さんです。もと

と読書が好きで、修復のしかたを同館の講習会で学ばれました。のりがはがれてバラバラになった物や背表紙が破れた物などを手作業で丁寧に直していきます。その数は昨年だけで2272冊にもなります。「傷んでいるということ、多くの人に読まれている証拠」と、修復する指先にも力が入る皆さん。修復を終え、棚に戻された本からは、なぜか温かみも感じられます。「こうして直せばまだまだお役に供してくれる17万冊以上の本は、陰の力に支えられながら、棚に並べられているのです。」

「まだよちよち歩きの真央（左）が転びそうになると、3歳年上の真毅お兄ちゃんは、『真央ちゃん〜』と、そばに駆け寄りだっこをしてあげるんです。危なっかしい手つきで背中から抱えるしぐさに、見ているこちらは少しハラハラするのですが、真央は『キヤッキヤッ』と笑い、足をバタバタさせます。そんなふうに慕ってくれる妹に、真毅は、幼稚園に行く前『帰ったら絵本を見せてあげるね』と話しかけます。真央はできるよくなったばかりの『バイバイ』で見送るのが日課なんですよ」と、母親の悦子さん。



わが家のアイドル

きちゃん (4歳0か月)
ひるちゃん (0歳11か月)
お川 道法さん 悦子さんの長男・長女
錦町6丁目

●プレママ講座「妊娠中のママたちへ/とき」11月10日(木)午後1時半〜4時 産婦人科医師による妊娠・出産についてのお話 先輩ママとの交流会 申し込み電話で保健センター

とき	内容
毎月1回 水曜日 午前10時~11時半	妊婦歯科健診・保健
毎月1回 水曜日 午後1時半~4時	食生活・赤ちゃんの育て方
毎月1回 水曜日 午後10時~11時半	お産の経過 沐浴実習

●エンジョイママクラブ 育児不安のあるママたちのクラブです。

回	とき	内容
1	21日(月)	4日(月) 妊婦歯科健診・保健
2	25日(金)	21日(木) 食生活・赤ちゃんの育て方
3	26日(土)	23日(土) お産の経過 沐浴実習

赤ちゃんメモ

(問) 保健センター (☎431・5590)

●母乳食講習会 都合のよい1日を選んで事前に申し込んでください。

とき	対象	内容
7日(金) 18日(火)	平成19年8月生まれの第1子の保護者	食の進め方 離乳食の手取り方
11日(金) 29日(火)	平成19年9月生まれの第1子の保護者	食の進め方 離乳食の手取り方

時間=午前9時45分~11時45分
ところ=保健センター
託児は可能ですが先着10人までです。第2子以降のかたはご相談ください。
持ち物=母子健康手帳、筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスタオル、ビニール袋(オムツ持ち帰り用) ほか必要な物

とき	対象児	受付時間・ところ
4日(火) 5日(水)	平成19年7月生まれ	午後1時15分~2時 保健センター
11日(火) 12日(水)	平成18年5月生まれ	午後1時15分~2時 保健センター
7日(金) 14日(金)	平成16年11月生まれ	午後1時15分~2時 保健センター
6日(木)	平成15年5月生まれ	午後1時15分~2時 保健センター
4日(火) 5日(水)	平成18年11月生まれ	午前10時~10時半 保健センター

●新生児・産婦訪問指導 対象「赤ちゃんが産まれてから4か月児健診の前月まで受けられます。(第2子以降のお子さんも可)」

●赤ちゃん健康診査・相談 対象月「母子健康手帳」問診票 対象月に受けられないときは翌月でも受けられます。

●赤ちゃんが産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているがき)を保健センターまでお送りください。

●赤ちゃん健康診査・相談 保健師、助産師による ・赤ちゃんの身体計測 ・発育や育児についての相談 ・お母さんの産後の相談

輝いていま ひと

素顔の織姫はバレエダンサー

の ^{すぎ} ^{あや} ^か 野杉 文郁 さん



最高位プリンシパルを目指して

自分も習いたいとお母さんにお願したそうです。でも、見るとやるのとは大違い。上手に踊るために柔軟はもちろんな、腹筋や背筋、脚力を鍛えるなど日々の鍛錬は欠かせません。中学1年生のとき、友達と遊びたくて1度バレエを辞めたんです。でも、年1回行われているスタジオの発表会を初めて観客として見たとき、やっぱりバレエがやりたいて、すぐ先生に復帰のお願いをしたんです。その後、野杉さんは全国でも珍しい舞台芸術全般が学べる高校に進学。同じ夢を描いている友達と切磋琢磨した3年間は、野杉さんを大きく成長させました。高校卒業後、表現力にも磨きがかかった野杉さんは、今年の発表会でついに、大好きな作品「ドンキホーテ」で100人以上いるスタジオのダンサーの中から初の主役に選ばれ、男性ダンサーと2人で踊るパドドゥにも挑戦しました。また、今年から教え子の振り付けも担当するなど、活躍の場を広げています。「将来はプリンシパルとして舞台に立ちたい」と話す野杉さん。今年も最高位を目指します。

「白鳥の湖」や「くるみ割り人形」などの作品が有名なクラシックバレエは、物語、会話、感情などをすべて体で表現します。「優雅に見えますが、足を高く上げたり、飛んだりとかかなりきついんです。でも、踊っているときは無心になれるから気持ちいい」と笑顔で話すのは11月3日の宿場まつりでミス織姫を務めた野杉文郁さん（南町4丁目・20歳）です。野杉さんは現在、川口にあるバレエスタジオで、レッスンの傍ら、子どもたちにもバレエの指導をしています。野杉さんは4歳のときバレエを始めました。友達が楽しそうに踊っているのを見て、

ぷらっと・わらび・小さな旅

「蕨市役所」

ぷらっとわらび西ルートのバスは蕨駅西口を出ると北町、錦町を巡り、29番目の停留所「蕨市役所」から中央地区に入ります。ここでバスを降りると目の前が市役所正面玄関です。現在の庁舎が落成したのは、東京オリンピックが開かれた昭和39年。落成時には記念式典が開かれ、美術・写真・生け花などが展示されたほ

が、市民の皆さんに屋上にある展望室からの眺めを楽しんでいただけたそうです。当時の市長が『広報蕨』の紙面上で「市民サービスの殿堂にしたい」と語ったこの市役所は、それから40年以上にわたって行政の中心として、また市のシンボリックな建物として親しまれています。これからもきめ細かな市民サービスに取り組んでいきますので、お気軽にご利用ください。



広報に載っている写真を希望者に差し上げます 秘書広報課広報広聴係までご連絡ください



わらびの野鳥・虫・草

マメアサガオ

日ごとに冬の気配が濃くなってきた11月上旬、錦町5丁目の道端で花を咲かせるマメアサガオを見つけました。つるを伸ばして生長する、ヒルガオ科の1年草です。見つけた花は白でしたがピンクや淡紫色のものもあり、直径は1〜2センチ。小学校の理科でもなじみ深いアサガオの花のようなじょうご形です。花期が8月〜10月ごろなので、花はもうほとんどが散り、茶褐色の実をたくさん付け始めていますが、まだ咲いている幾つかの花を見ることができました。ここは第二中学校の近くです。道端の草花は冬の訪れを感じさせますが、校庭には寒さに負けず元気いっぱいの花姿が見えました。